

様式第1号(第6条関係)

平成30年度 P P D C Aサイクル表

台帳番号 平成30年度 19番 当初起案日 平成30年 6月25日

所 管 基地・防災特別委員会 担当者 職・氏名 主事 新家 未夏

サイクル	年 月 日	内 容 等
計画 Plan	30.6.25	<p>基地・防災特別委員会で、</p> <p>誰が：基地・防災特別委員会が</p> <p>いつ：委員任期終了（H30.9月頃）までに</p> <p>どこで：—</p> <p>何を：加賀市災害対策基本条例を</p> <p>なぜ（何のために）：災害から市民の生命、身体及び財産を守り、被害を最小限に軽減し、災害に強い、安全で安心なまちづくりができているかを</p> <p>どうする：検証する。</p>
手順・ 経過 Process	30.6.25 30.8.7 30.9.19 30.9.26	<p>委員会で当局から、行っている災害対策事業の実績について説明を受け、委員より意見を出した。</p> <p>基地・防災特別委員会で出した意見に対しての見解を当局に提出させ、委員より意見を出した。</p> <p>検証結果を正副委員長でまとめ、9月の委員会で委員に確認した。</p> <p>基地・防災特別委員長より議長に報告書を提出した。</p>
実行 Do	30.6～30.9 30.9.26	<p>加賀市災害対策基本条例の検証作業を基地・防災特別委員会で行った。</p> <p>基地・防災特別委員長より議長に報告書を提出した。</p> <p>委員会での検証作業の結果、昨今多発する局地的、集中的な豪雨・豪雪や突発的な地震などの災害に備え、市として自主防災活動の支援・協力をさらに進めていくべきことや、避難対策として、日ごろから食料や飲料水などの備蓄品、土のうなどの資材の管理状況を、地域ごとに把握しておく必要性などを取りまとめた。</p> <p>また、市議会としても、大規模災害時において、迅速かつ適切な議会活動ができるよう、組織体制、対応手順や情報収集のあり方などをまとめた議会版 業務継続計画の策定に向けて審議が必要と判断し、議長に委員会存続の申し送りをした。</p>

検証 Check	30.9.26	今後も、委員会として注視していくこととし、定期的な検証が必要である。
改善 Action	—	—